



スクラム

柳井市立小田小学校

学校だより第628号

校長 浅海 範明

小・中の滑らかな接続をめざして

～柳井中学校区合同研修会～

昨年度の学校だよりでも紹介させていただきましたように、本校教員は1年に1度は授業を公開し、互いの指導技術を高め合う機会としています。今回行った中学校との合同研修会は、そのことに加えて「中学校生活への円滑な接続」をめざしたものでした。

小学校と中学校では発達段階や教える内容の質や量が異なるので、授業スタイルは自ずと変わってきます。そしてそのことが学習者としての成長を促進しているのだとも言えます。しかしながら、目の前の生徒が小学校で教えられてきた授業の様子や、これから子どもたちが学ぶ中学校での授業の様子を小、中の教員が互いに知っておくことで、より効果的な授業を行うことができます。そして、そのことが授業を受ける子どもたちの「わかる喜び、できる楽しさ」につながっていくものと考えています。

今回の研究会では、5・6年担任の青木教諭が、6年算数科「文字と式」の授業を公開しました。具体的な数字を扱うことがほとんどの小学校算数から、文字式、方程式と発展していく中学校数学への橋渡しとなる内容です。小学校では、日常生活において文字式を使うことの便利さを感じさせることに意を用いますから、青木先生は修学旅行でのお買い物の場面を用いて問題場面を設定していました。「今から学習することが何の役に立つのか」を納得させてから教えることが、主体的な学びにつながります。中学校ではさらに発展して、文字式を使うことによる数学的処理の便利さや思考の広がりを感得することでしょう。小・中の教師の連携で算数・数学をより意味あるものとして学ぶことができれば、中学校を卒業してからも数学への興味をもち続けることができるのではないのでしょうか。



授業後の検討会では、小中の先生が混合で3つのグループに分かれ、気づきを出し合いました。

自転車安全教室 ～命の大切さを学ぶ教室でした～

参観日に合わせて柳井警察署から指導者を招き、自転車安全教室を行いました。自転車の運搬等でご協力いただき、ありがとうございました。当日は、交通事故現場をよく知る警察の方ならではのお話もあり、自転車の乗り方のみならず、自他の命を大切に作る運転者としての心構えを教えていただくことができました。私も以前勤めた学校で児童の重大事故を経験しており、平穏な日常が一瞬にして奪われる交通事故の悲惨さを痛感しました。自転車に乗るようになる小学校3年生からは、歩行中の事故より自転車乗車中の事故の方が多くなるという報告もあります。自転車は子どもたちにとって魅力的な交通手段ですが、交通安全に気をつけるようご家庭でもしっかりご指導下さい。

子どもたちが自転車に乗っている様子から気になった点が2つ。一つ目は自転車の調整、整備について。体の大きさに合わせた調整、ブレーキ、チェーン、ハンドル、タイヤの空気圧等。運転技術が未熟な子どもたちです。大人ではなんともない整備不良も重大事故につながります。二つ目は発進時のふらつき。おうちでも運転技能をチェックしていただき、安全第一で利用させて下さい。



柳井中学校区しらかベネット
育てたい子ども像

ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子

